

よさを引き出し、伸ばす

一言で教育といっても、学校教育、家庭教育、社会教育など、様々な分野があります。また、自己教育力、自己啓発という語が示すとおり、私たちは自分自身を教育することができます。

education（教育）の語源はラテン語の educere で、「引き出す」という意味があります。私は、教育の根本は「よさを引き出し伸ばす」ことであると捉えています。

さて、本市の目指す教師像に「子どものよさを引き出し伸ばす教師」、子ども像には「自己実現に努める子ども」があります。自己実現とは、自分の可能性を発揮しながら生きることです。

これら二つの像の実現に欠かせないのは、次に示す認識です。

- ◆ 誰もがよさや可能性をもち、更によく
なりたいと願っている。
- ◆ 人には、自分自身を成長させる自己成長力がある。

私たち大人は、子どもの至らぬ点や改善すべき点に目を向けがちです。子どもと接する際、「よさを引き出し伸ばす」ことを重視し、たとえささいなことでもよい点を見逃さず、ほめ励まし、自尊心と自己成長力を高めていきたいものです。



褒めて育てる

ラグビー元日本代表ヘッドコーチ エディ・ジョーンズ

日本のスポーツの現場を見て、とても気になったのは、指導者が選手を褒めることが非常に少ないこと。

指導者は、まるで褒めることを惜んでいるかのようです。そして、否定的な言葉ばかり浴びせます。ほとんど言葉の暴力のような場合も少なくありません。私は、どのような世界でも、指導者は褒めることを惜しむべきではないと思います。

出典：「ハードワーク」（講談社）

※ 中学校の部活動指導等に、生かしたい言葉です。